# 日本安全保障貿易学会 第3回研究大会 2006年9月9日 「中国への輸出管理:両用技術の視点から」

同志社大学 村山裕三

- 1.中国の台頭と輸出管理
  - 1)輸出管理: Balancing the National Interest 経済と安全保障の利害をいかにバランスさせるか
  - 2)中国台頭の二重の意味 経済 相互依存の進展 安全保障 軍の近代化、潜在的な脅威
  - 3)問題が凝縮される両用技術 実業界と安全保障コミュニティとの対立、それでも日々の業務の中で対応を迫られる
- 2. 中国における両用技術の位置づけ
  - 1)1950年代:旧ソ連からの技術やノウハウの移転により軍事技術開発 1960年代:中ソ関係の悪化により独自開発へ 1970年代終 - 80年代:軍事調達減少 - 軍民転換路線(軍と民技術の壁を低くする)
  - 2)軍需産業の低迷と新たな戦略
    - ・ 軍需産業の低迷 + 軍民転換進展せず(湾岸戦争のショック!)
    - ・ 1998 99 年に大改革を断行 選別的な近代化:航空宇宙、ミサイル、電子分野(C4ISR)への集中 軍民統合:民生技術の軍への吸い上げ、両用技術の活用 海外からの武器、技術、部品などの導入:兵器生産に使用できる民生用機械の導 入など、国産比率の向上から自主開発へ
  - 3)中国における経済安全保障
    - ・経済安全保障への関心の高まり
    - ・ 造船:合弁、提携による海外技術の吸収による競争力獲得-海軍力増強との関係

### 3.アメリカの対応

### 1)両用技術と日本問題

- ・1980年代後半、日本の台頭により、技術の両用性を明確に認識:半導体、工作機械、 FSXなどをめぐる日米摩擦(日本への依存問題、軍事技術の民生分野への転用)
- ・ 1990 年代に入り、経済と安全保障を結びつける考え方が定着

#### 2)中国問題の登場

- ・経済と安全保障がからまる問題への対応は迅速
- ・ 2000 年に、U.S.-China Economic and Security Review Commission を設立 目的は米中間の経済、貿易関係が、安全保障に与える影響を監視、調査。 2002 年 1 月: Export Controls/Dual-Use Technology: Technology Transfer Issues 2006 年 3 月: China's Military Modernization and U.S. Export Controls
- ・ 万能薬はないが、議会、行政府、学会、シンクタンク、実業界などを含む広範な議 論の存在

### 4. 日本の課題

## 1)不幸なスタート

- ・両用技術に対するネガティブな対応:日米摩擦、政治やメディアからの突き上げ
- ・ 実業界:触れてはならない領域の感

## 2)新たな認識の萌芽

・総合科学技術会議『第 3 期科学技術基本計画 分野別推進戦略』:「安全に関する科学技術の研究開発についてはデュアルユース技術(軍民両用技術)による開発体制のあり方を他分野とも連携して検討する必要があり、防衛、警察、消防関係の科学技術についても積極的に民生技術を活用した研究開発の取組を推進する」(278 頁)

## 3) 広範な議論と戦略の必要性

- ・両用技術の認識をネガティブからポジティブ志向へ転換
- ・ 包括的な両用技術戦略の必要性:経済競争力(実業界)と安全保障力(政府)の共 倒れを防ぐ方策
- ・ 安全保障貿易学会:議論と提言の格好の場